

純正 侵入センサーシステム

取扱説明書

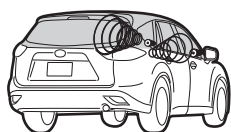
この度はマツダ純正侵入センサーシステムをお買い上げ頂きましてありがとうございます。
常に最良の状態でご使用頂くために、ご使用になる前に本取扱説明書とバーグラアラームシステムの取扱説明書をよくお読み頂き、記載された内容に従ってお使いください。

<ご注意とお願い>

- 本取扱説明書に記載されていない使用法は絶対に行わないでください。
- 本製品の取扱い内容につきましてご不明な点がございましたら、商品購入先の販売店にお問い合わせください。
- 記載事項を守らなかったために発生した不具合につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は盗難を 周囲に知らせるものであり、盗難を防止するものではありません。ご使用方法を間違えたり、何らかの原因で本製品が故障または破損し正常に作動せず盗難に遭われても、責任を負いかねます。
- 本取扱説明書は、ご使用の都度確認いただけますように、必ず保管してください。

特徴

- 窓ガラスが割られ侵入されるなど車内で動く物を侵入センサーが感知した場合、ホーンや非常点滅灯(ハザードランプ)で周囲に異常を知らせます。
- 本製品は純正バーグラアラームシステムに侵入センサーを追加したもので、バーグラアラームシステムに連動します。



侵入センサーが
検知した場合

非常点滅灯



使用方法

◆侵入センサーシステムの設定及び解除方法


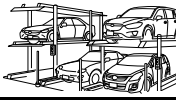

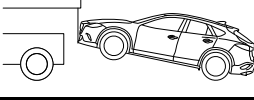
侵入センサーシステムは、バーグラアラームシステムに連動して設定/解除されます。
詳しい操作方法は、バーグラアラームシステムの取扱説明書をご参照ください。

参考

- 警報中のホーン吹鳴は侵入センサーシステムを解除する事で止めることができます。
- 侵入センサーのみを一時的に停止させたい場合は、裏面の「センサー停止モード」で停止させることができます。
- 警戒状態中に、リクエストスイッチを使ってリフトゲート/トランクを開けている間は、侵入センサーは一時的に解除され、リフトゲート/トランクを閉めると約30秒後に再び警戒状態に戻ります。
- 純正リモコンエンジンスターターでエンジンをかけている間は、振動やエアコンの風による誤警報を避けるために、侵入センサーの検知を一時的に解除します。
- 侵入センサーシステムは、ドアを施錠してから約30秒後に警戒状態に設定されます。
なお、インジケータランプはドアを施錠後すぐに点滅を開始します。
- インジケータランプの点滅間隔がバーグラアラームシステムの取扱説明書に記載されている間隔から変わります。
インジケータランプは約3秒間に1回の間隔で点滅します。






センサー停止モード

次の様なシーンでは誤警報をしない様に下記の手順でセンサー停止モードにしてください。
このモードにしてもバグアラームシステムは正常作動します。

ペットを車内に残す場合	機械式駐車場	カーフェリー	レッカー・積載車
			

① 全てのドアを閉めてください。

運転席のドアを閉めてから約15秒以内に操作してください。

- ② キーレスまたはリクエストスイッチにて施錠 
- ③ キーレスまたはリクエストスイッチにて解錠 
- ④ キーレスまたはリクエストスイッチにて施錠 
- ⑤ キーレスまたはリクエストスイッチにて解錠 
- ⑥ キーレスまたはリクエストスイッチにて施錠 

⑦ センサー停止モードになるとインジケータランプが約30秒間点灯します。
その後はインジケータランプが点滅に変わります。
インジケータランプが点灯しない場合は①からやり直してください。

- 参考
- 侵入センサーシステムが解除される時にセンサー停止モードの設定も終了します。
再度センサー停止モードに設定する場合は、①から操作してください。
 - センサー停止モード中に、リクエストスイッチを使ってリフトゲート/トランクの開閉を行っても、センサー停止モードは継続します。
 - センサー停止モード中のインジケータランプの点滅は、通常の設定時と同じであり、外部からの見分けはつきません。

注意

下記のような状況では正しく作動しなかったり、誤警報することがありますので、ご注意ください。

 窓、サンルーフ、トランク等が開いている場合	 侵入センサーの周囲に障害物を置いている場合	 侵入センサーが外れている場合	 車室内の吊り下げ物（カーテン、ハンガー、お守り、ゴミ袋）が揺れた場合	 車室内の荷物や傘が倒れた場合
 フロントウィンドウやダッシュボードに取り付けてある電子機器が揺れた場合	 フロントウィンドウ等に吸盤や紐で取り付けてある日よけがゆれた場合	 近くを飛行機、電車、大型車などが通過して車両が揺れた場合	 地震、大雨、雷、雹、強風などで車両が揺れた場合	 車両近くに工事現場やコンプレッサーなどの振動が車両に伝わった場合